

城陽市障がい者自立支援協議会

第2回 聴覚言語障がい支援部会報告書

報告者 部会長 障害者生活支援センター はーもにい 山崎 伸治

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 23 (2011) 年 9 月 2 日 午前 10 時 ~ 12 時
場 所	城陽市役所 第 7 会議室
出 席 者	城陽市福祉課 相談支援事業所 (障害者生活支援センターはーもにい) 手話通訳者の会・要約筆記奉仕委員会・手話サークル・要約筆記サークル
検討課題	前回提案された課題を具体化するための方法を検討。

【議事録】

1. 報告事項

- ・要約筆記者から新たに 1 名委員が選出された。

- ・当事者の部会参加について

当事者団体へ「聴覚言語障がい支援部会」の目的や現在の進捗状況を説明し、今後の課題に応じ部会への参加協力を依頼する。

2. 課題を具体化するための方法を検討

- ・啓発について

地域に暮らす聴覚障がい者への理解を深めるために、『出前講座』のような手法を用いて、当事者と支援者が一緒になって身近な地域に出向くことを検討する。

- ・関係機関ネットワーク作り

高齢や独居の障がい者の安否確認、災害時の支援は、より身近な地域で暮らす人の力を活用することで、早期に実態を把握することができると思われる。自治会のような単位を基本としてネットワークを構成できるよう検討する。

- ・支援マップ

災害時にどこに避難すれば、どのような支援が受けられるかなど、聴覚障がいに限らず高齢者や災害弱者にとって有効な情報が掲載されるマップの作成を目指す。

- ・障がいのある子どもへの支援

専門のサポート機関への通所や、支援学校への通学で、地元から離れてしまうことが多く、地元で子どもが育つ環境作りにむけて、親子手話教室など障がいのあるなしに関わらず参加できる取り組みを検討する。